

モロッコのラバト国際大学と大学間学術交流協定を締結

【概要】

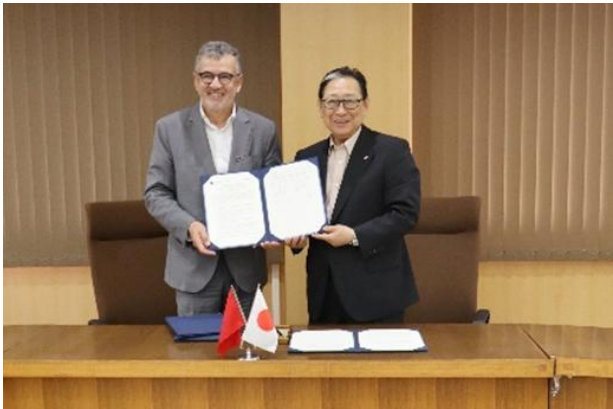
2024年7月8日(月)、岐阜大学は、モロッコのラバト国際大学（UIR）と大学間学術交流協定を締結しました。

この協定締結は、2023年5月にラシャッド・ブフラル 駐日モロッコ王国特命全権大使が本学を訪れた際に、本学とUIRの交流を提案されたことが契機となりました。同年12月には吉田学長らがUIRを訪問し、学術交流の可能性について協議を行い、エネルギー工学分野での共同研究を中心に交流を進めることとなり、今回の協定締結が実現しました。

協定締結の署名式には、本学の吉田学長、UIRのヌレディン・ムアディブ学長をはじめ、両大学の教職員が出席しました。署名式で吉田学長は「今回の大学間学術交流協定締結を通じて、学生交流や共同研究においてより重層的な交流が始まることを期待している」と述べました。また、ムアディブ学長は「今回の協定締結、そして本日の岐阜大学の訪問を通じて、学生交流や博士課程の指導、共同研究等を発展させていきたい」と述べました。

署名式の後には、UIR側の教員3名が研究内容を紹介し、本学からは糖鎖生命コア研究所、地方創生エネルギーシステム研究センター及び航空宇宙生産技術開発センターがそれぞれの取り組みを紹介しました。その後、これらの研究所及びセンターを実際に見学し、交流を深めました。

今回の訪問及び大学間学術交流協定の締結を機に、本学はUIRとの連携をより一層深め、今後の研究交流を促進するなどさらなる国際化に向けた取り組みを推進していきます。



協定締結署名式の様子
(左から) ムアディブ学長、吉田学長



学内見学（航空宇宙生産技術開発センター）

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2024/7/11	中日	モロッコと県 交流の深化を 「清流の国文化祭」 期間中 可児で催し移り 「観光の促進に」 期待 ～吉田和弘 学長～